

3学期スタート!

縄跳び大会、学力テスト、授業発表会でいっしょ

鹿本はひとつ



校章

学力充実を重点に

新年あけましておめでとございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

三学期がスタート

しました。これまで

同様、新型コロナウイルス

対策をしっかりと行

いながら、一月二十

九日(金)に縄跳び

大会、二月十八日

(木)、十九日(金)

に全学年の学力テス

ト、二月二十七日

(土)に子ども達が

授業で活躍する授業

発表会(授業参観)、

三月二十四日(水)

に卒業式等を予定し

ております。それぞ

れの場面で、鹿本小

の子ども達一人ひと

りが「あいいうえお」

の力を発揮し、輝い

てくれることを期待

しています。

特に、三学期に力

を入れるのが学力充

実です。今の学年で学習したことをしっかりと習得し、自分の力にしてほしいと思っています。

学力は、①自分自身を豊かにするもの

②自分自身の将来の夢を叶えるもの、総

じて、自分自身が幸せになるための力だ

と思えます。

しかし、確かな学

力は簡単に身につく

ものではありません。

日々の積み重ね、努

力が必要です。一時

間一時間の授業を、

ミニパワー(学力充

実)の時間を、宿題

等の家庭学習を全力

で頑張る身につく

ものです。鹿本小全

職員で学力充実に取り

組んでいきますので、どうぞ、ご家庭

でのご協力もよろしく

お願いします。



学ぶ意欲・態度



基礎・基本



思考力・表現力

令和3年新年にあたり思うこと

新年を迎えたこの時期には、成人式や同窓会等に招かれることがある。懐かしい教え子たちの成長した姿を見られるのは何よりの楽しみだ。また、会の中で聞く当時の数々のエピソードには、「本当にそんなこと言った?」「そんな指導やった?」と恥ずかしくなるようなことが多いが、何より教え子たちが学校生活での何気ない一言を何年経っても覚えていることにいつも驚かされる。残念ながら、令和3年の新年では、新型コロナウイルス感染拡大防止のために各地の成人式等も中止となり、思い出話をすることはできなくなった。しかし、教え子一人ひとりを思う気持ちは変わらない。

随分前の話であるが、テストの採点をしているとき、テスト裏の隅に、読めないほどの小さな文字が綴られていた。「先生、今年最後のテストですね。本当はテストに書いてはいけませんが、今回だけ許してください。辛いことがあった一年でした。学校に行きたくない日もありました。それでも、学校に行きました。先生のお顔を見ると元気がもらえたからです。学校のどこかに先生がいると思うと安心しました。初めて出会った時は、こんなに厳しい先生がいるのだと驚きました。けれども、どんなときも誰に対しても同じ笑顔でいてくれました。また来年も一緒にいてください。今年も、みんなのことを自分のことより大切にしてくれてありがとうございました。」数十枚のテストの丸付けの中の一つ。見逃さなくて良かったと、同じ小さな文字で返事を書きながら胸が痛いほど締め付けられた。私には見えていなかった想いが綴られていたからだ。人生は言葉で伝えられない想いの方が遥かに多いのだろう。子どもたちの想いを支えるのが教師だとしたら、子どもたちに寄り添い、心をこめて分かろうとしても見えない想いがあることをこれからも教師として心に留め続けたい。

